

## (2) 牧田議員の「間違いとウソ」の類い<sup>たぐ</sup>

話の続きですから、議事録も再度掲載しておきます。

あの一、最近ちょっと難しい言葉は『ひらがなにしましょう』みたいな変な風潮があるんですけど、ミズバショウくらい漢字で書きましょう。漢字を読めるようにしましょう。①松尾芭蕉の芭蕉であるし、歴史的な言葉なので、ここまでひらがなにする必要は無い。ここは漢字で書きましょうと思うのです。(笑い)

いや、これはね、笑い事ではないのでして、最近、思うんですけど、新聞はどんどん紙面を大きな文字にしましょうということにしますよね。

見やすくわかりやすくと言っているんですけど、②わかりやすくするために、漢字で表記すべき所をひらがなで表記したりするようになってから、新聞の記事は非常に劣化していると。これはも一、新聞というか、一般の社会時評の方々も、みなさん、そう言うんですけど、③相手の知性をバカにしていると自分の知性も落ちてくるんです。これは間違いありません。

今の新聞記事の社説なんて全然読めません。何に言っているんだ。

お前って、そんな誰が言っても批判出来ないことしか書くなと言うように。僕はもう段々腹が立ってきて、④最近、農業問題とかも、Q&Aとかって、書くじゃないですか。これはどういうことなのと質問があって、アンサーとしてこれは、こうこう、こうだよって。バカにすんなと思うんですよ。

お前なんか上から目線でしょうと。お前らどうせわかんないんだから、新聞社、私が教えてあげようみたいな姿勢が見えてて、段々そんなことをやっているうちに、⑤新聞記事もひどく間違いが多いし、よく、NHKの記者も言い間違いをして、あとで、訂正とかしてはますけど、非常に多くなってきているので、あの、なんかね、やはりね、皆さん、国民の知性を信じましょうよ。これくらいのことは漢字で書きましょうと思います。

### 第2回目・・・「(新聞は)漢字で表記すべき所を「ひらがな」で表記したりする」と主張する牧田議員の発言はウソ!

#### 牧田議員の「間違いとウソ」の類い②

②(新聞は)わかりやすくするために、漢字で表記すべき所をひらがなで表記したりするようになってから、新聞の記事は非常に劣化していると。・  
.....③相手の知性をバカにしていると自分の知性も落ちてくるんです。これは間違いありません。今の新聞記事の社説なんて全然読めません。

### 1, 牧田議員は、各新聞社が「新聞常用漢字表」に従って新聞を作っていることを知らないようだ。

もし、牧田議員が、新聞表記には「新聞常用漢字表」が使われていることを知っていたら、「(新聞は)わかりやすくするために、漢字で表記すべき所をひらがなで表記したりするようになってから・・・」などと言うはずも、言えるはずがありません。

### 2, 「新聞常用漢字表」とは、「常用漢字表」を基本に作られたもの。

(以下の文章は、HP掲載後に来た毎日新聞社からの回答を踏まえ、一部、書き直しました。1/29)

新聞の表記の基本には、「新聞常用漢字表」があります。

どの新聞社も、漢字で表記すべき用語は、新聞社共通の「新聞常用漢字表」に従い、定められた漢字で表記しています。

「新聞常用漢字表」以外の漢字は、「読みかな」をつけるか、ルビをつけるか、まれに平仮名にするか、新聞社によって異なるのですが、どの新聞社も「新聞常用漢字表」を無視して「わかりやすくするために、漢字で表記すべき所をひらがなで表記」することは一般的にはありません。

この点は、読売新聞社・朝日新聞社、北海道新聞社・毎日新聞社に確認済みです。

ただ、一部、例外的措置を講じている新聞社もあります。

例えば、北海道新聞社の場合は、「難解な漢字には、読みがかな表記とひらかな表記を併用している」事例がありました。

また、毎日新聞社の場合は、「文章によっては、かな書きにして良いということになっている」との回答でした。これは「漢字によってはではなく、文章によっては」ということです。

いずれにせよ、北海道新聞社・毎日新聞社の事例は、あくまでも例外的処置であり、牧田議員言っていることとは、その内実が全く違います。

### 3, 漢字の数がこんなに増えているのに、牧田議員は、「新聞の記事は非常に劣化している」言うのか？

(「常用漢字表」は、学校で習う漢字です。

新聞社もそれを基本にした「新聞常用漢字表」を使っています。)

「常用漢字表」に載っている漢字は、学習指導要領に基づき、学年対応に応じて学校で習う漢字です。

「この表は、法令、公用文書、新聞、雑誌、放送など、一般の社会生活において、現代の国語を書き表す場合の漢字使用の目安を示すもの」ですが、「科学、技術、

芸術その他の各種専門分野や個々人の表記にまで及ぼそうとするもの」ではなく、固有名詞を対象とするものではない。」こと等々を内閣告示で示したものです。

**漢字の数は以前よりも増えています。**

	常用漢字数	新聞常用漢字数
<b>1981年</b>	1945字	1952字（特例12字含む）
<b>2010年</b>	2136字	2134字

※「当用漢字」の時代には、1850字ということもありました。（**1946年**）

現在の「常用漢字表」に示された漢字の数は、2010年に定められたもので、2136字あります。

新聞で使う漢字は、この「常用漢字表」の2136字に増減をして（7字減・5字増）2134字を「新聞常用漢字表」として各新聞社が使用しています。

加えて、「新聞常用漢字表」以外の「表外字」「表外音訓」には、「読みかな」（ルビの場合も）をつけて使う事が定められました。

しかし、牧田議員が言うように、「新聞常用漢字表」にある漢字まで、「わかりやすくするために、漢字で表記すべき所をひらがなで表記」は一般的にはしていないのです。

従って、以上の観点で作られている新聞表記は、牧田議員が言うように「相手をバカにしたレベルのもの」ではありません。

**新聞の記事は非常に劣化している。**

**相手の知性をバカにしていると自分の知性も落ちてくるんです。**

**今の新聞記事の社説なんて全然読めません。**

**お前って、そんな誰が言っても批判出来ないことしか書くな。**

(1) 「新聞の記事は劣化している」か？

そもそも、「記事の劣化」と言うことが、何を意味しているのは不明ですが、文脈からすれば、記事が漢字を使用せずにひらがな表記になったために、レベルや質が落ちた」と牧田議員は言うわけです。

しかし、平仮名が多く含まれた記事でも、しっかりした内容の記事はあるものと思うのですが、「漢字で書かれていない記事はレベルの低い記事」と牧田議員は決めつけているのです。

しかし、実際は、一般社会人として必要な教養レベルの漢字であり決して易しい漢字ばかりではありません。記事の内容も同様です。

(2) 「今の新聞記事の社説なんて全然読めません。」の意味は？  
日本語的にわかりにくい「発言」

正直なところ、このフレーズの意味が、良く理解出来ないのです。  
流れ的には、「今の新聞の社説は、ひらかなを多く使っていて劣化しているの  
で、」と言った流れがあるのはわかるのですが、**他方、「誰が言っても批判で**  
**きないことしか書くな**」の意味が、わかりにくいのです。

正反対な解釈が二つ出来るからです。

一つは、「誰に対しても批判ばかりするようなことは書くな」とも読み取れる  
し、逆に、「誰も批判出来ないような当たり前のことばかり書くな」とも受け  
取れます。どうも、日本語としても判然としません。

しかし、多分、前者のことだろうと想像しますが、いずれにせよ、牧田議員の  
の社説批判は、「漢字を使用しないための新聞記事の劣化」と「新聞社が読者  
をバカにしている。上から目線だ」と言う批判と結びついています。

しかもそれが、特定の新聞社に対して言ったものではなく、「今の新聞記事  
の社説は」と言っていることから、「どの新聞社の社説も」と言うことの様  
です。

**牧田議員は、本当に社説を読んでいるのか？**

先の牧田議員の文書を、どちらの解釈に立ったとしても、社説に対する事実把  
握がかなり違うと言う印象があります。

第一印象で言えば、「牧田議員は、本当に社説を読んでいるのか」という疑問  
が生まれます。

私の場合を言えば、世間で話題になっている問題で、新聞の論説を読んでも  
「良くわからない」との印象を持ったり、もっと理解して定見を持ちたいと思  
うときは、手っ取り早く、2～3社の新聞社説を読むことにしております。

なんと言ってもインターネット時代です。各新聞社の社説は、自由に読めるの  
です。今まで読んでみての感想は、「新聞社によって主張がかなり違う事が多  
い」と言うことです。

今問題になっている「農協改革」でも、読売新聞と朝日新聞では、主張に違  
いがあります。読売新聞社説は、「全中の権限縮小を求めている」が、朝日新聞  
は、どちらかと言えば中立的で、「政治的思惑や駆け引きを排し」などの主張  
が主眼のようです。いずれにせよ、新聞の社説は、どの新聞社の場合も、テ  
マの問題点の把握と理解に大いに役立っているのです。

牧田議員が言うように、決して、「**お前って、そんな誰が言っても批判出来な**

いことしか書いているものではありません。その点は、事実として言っておきます。私の印象から言えば、牧田議員は、新聞の社説を本当は、ほとんど読んだことがないのではないかということなのです。

ハッタリのために読んだ振りをして、「いいふり」をしたのではありませんか？もし本当に読んでいたら、「誰が言っても批判できないことしか書くな」とは、絶対に言えないと思うからです。

社説は多くの場合、会社により多様です。

新聞の社説というのは、「内容の評価」（賛成反対）は別にして、どの新聞社も、必要な漢字を使いその会社の一線級の記者・論説委員を当てて書いているものです。

それを牧田議員は、各社の社説をバカにし、見下した発言をしました。

牧田議員の心底は、議場にいた人達（議員達や役場職員）は、社説をろくに読んだことはないのだろと、なめてかかり、俺が読んだら読むに耐えないほどレベルの低いものなのだ。レベルの高い俺が読めば」と、いつもの「いいふりこき」のデタラメを並べて虚勢を張った発言なのです。

新聞社の論説員や社説を書くレベルの記者は、少なくとも、牧田議員ごときに馬鹿にされるようなレベルの人達でないことははっきりしています。  
いかにも、田舎者の思い上がりの発言と言うしかありません。

- (3) 「相手の知性をバカにしていると自分の知性も落ちてくるんです」とは、まさに牧田議員の為にある言葉です。

「相手の知性をバカにしていると自分の知性も落ちてくるんです」と説教じみたことを言ってますが、実は、それも虚勢を張るための言葉でしかありません。この言葉は、そっくり、牧田議員に贈呈します。

因みに、私は牧田議員に知性を感じたことは一度もありません。

議員としての見識も感じたことはありません。

だから、牧田議員が自分のことを、他の人が「知性がある」とか、「見識がある」と思っているだろうと考えているとしたら、それは誠に滑稽でおめでたい話です。

牧田議員は、議会の発言でこんなことも言ってますね。

「(お前(新聞社)なんか上から目線でしょうと。お前ら(読者は)どうせわかんないんだから、新聞社、私が教えてあげましょうたいな姿勢が見えてて」

これらの言葉も、そっくり牧田議員に贈呈します。

**「上から目線」と「私が教えてあげようたいな姿勢」** は、まさしく、  
牧田議員の姿勢そのものです。さらにたちが悪いのは、「みんなは気付かない  
だろうけど」と言う言い方をして、けなしながら、虚勢を張ることです。  
**「今の新聞記事の社説なんて全然読めないです」**なんて、言い方。  
よくも言えたものだとあきれしております。  
惜しむらくは、牧田議員の「上から目線」は、言葉は一応知ってるけれど、  
「知識」が、ほとんど無いことです。調査をしっかりと発言していないこ  
とです。それなのに、知った振りして、虚勢を張るから恥をかくのです。